

土地区画整理事業施行地区内における建築行為等の許可申請について
(土地区画整理法第76条許可申請)

1. 許可申請書の提出書類について

申請書は3部提出(正1部、副2部)してください。提出書類は次のとおりです。
※決定通知書に1部添付して返却します。

(1) 申請書関係

申請書	土地区画整理事業施行地区内建築行為等許可申請書 (第1号様式) ※記入方法については、別紙の 記入例① を参照してください。
付近見取図	位置図、案内図 ※方位、道路及び目標となる地物を表示した図面
公図の重ね図(写)	縮尺500分の1以上で現在の公図に仮換地図を重ねたもの ※施行者から入手してください。
その他市長が必要と認める書類	
委任状	許可申請について代理人を置いている場合 ※任意様式 ※申請者の押印が必要です。(正本以外は写しでも可。)
仮換地証明書等(写)	①仮換地の場合 ・仮換地指定証明書 又は 仮換地指定通知 (変更がある場合には、仮換地変更指定通知) ・位置図 と 仮換地図等 ※仮換地変更を予定している場合は、仮換地予定証明書も添付。 ※仮換地指定通知(仮換地変更指定通知)については、仮換地についての使用又は収益を開始することの日が記載されているものを添付。又、別に定めて通知することとなっている場合は、「仮換地の使用収益開始日の通知」等も添付。 ②保留地の場合 ・保留地証明書 と 保留地台帳 ・位置図 と 保留地図等 ※仮換地・保留地証明書等の宛先が申請者と異なる場合は、「権利」または「使用権限」を証する書類を添付してください。
権利を証する書類(写)	①土地売買契約書 又は 登記事項証明書
使用権限を証する書類	所有権以外の権利に基づく場合には使用権限を証する書類 ①賃貸借契約書(写)、地上権等設定契約書(写)など ②上記以外の土地使用承諾書 ※任意様式(正本以外は写しでも可。)

(2) 設計書関係

建築行為等の内容により、添付図書が異なります。詳細は裏面を参照してください。

土地の形質の変更	・土地の形質の変更設計書(第2号様式) ・添付図書
建築物の新築、増築、改築等	・建築物設計書(第3号様式) ・添付図書
工作物・物件の新設、増設、改設等 ※建築物を除く	・工作物・物件設置設計書(第4号様式) ・添付図書
物件たい積	・物件たい積設計書(第5号様式) ・添付書類

■「土地の形質の変更」の場合

設 計 書	土地の形質の変更設計書（第2号様式） ※記入方法については、別紙の 記入例② を参照してください。
設 計 図	縮尺1,000分の1以上のもので当該行為の施行後における公共公益施設、宅地等の位置及び形状を当該行為により新設し、又は変更される部分と既設のもので変更されない部分とに区別したもの（平面図・断面図）

■「建築物の新築、増築、改築等」の場合

設 計 書	建築物設計書（第3号様式） ※記入方法については、別紙の 記入例③ を参照してください。
配 置 図	縮尺500分の1以上のもので方位、敷地の境界線、敷地内における建築物の位置、申請に係る建築物と他の建築物との別、擁壁、井戸及びし尿浄化槽の位置並びに敷地の接する道路の位置及び幅員 ※建築面積及び延べ床面積を記した図面
各階平面図	縮尺200分の1以上のもので方位、間取、各室の用途
二面以上の断面図	縮尺200分の1以上のもので床の高さ、各階の天井の高さ、軒及びひさしの出並びに軒の高さ及び建築物の高さ （次の内容が記載されていれば、「立面図」でも可。 ・軒及びひさしの出並びに軒の高さ及び建築物の高さ ※縮尺は200分の1以上です。）

■「工作物・物件の新設、増設、改設等」の場合

設 計 書	工作物・物件設置設計書（第4号様式） ※記入方法については、別紙の 記入例④ を参照してください。
配 置 図	縮尺500分の1以上のもので方位、敷地の境界線、工作物の設置位置、工作物と他の建築物等との位置関係並びに敷地に接する道路の位置及び幅員
平面図、立面図、構造図、断面図	縮尺200分の1以上のもので主要部分の材料の種別、仕上げ方法等 ※基礎構造が申請地内側に収まることが確認できる図面を添付。

■「物件たい積」の場合

設 計 書	物件たい積設計書（第5号様式） ※記入方法については、別紙の 記入例⑤ を参照してください。
配 置 図	縮尺500分の1以上のもので方位、敷地の境界線、工作物の設置位置、工作物と他の建築物等との位置関係並びに敷地に接する道路の位置及び幅員
平面図、立面図、構造図、断面図	縮尺200分の1以上のもので主要部分の材料の種別、仕上げ方法等

許可申請様式等については、伊勢原市のホームページよりダウンロードできます。

<http://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2010100100027/>

2. 許可を受けた後に計画内容の変更が生じた場合

法第76条第1項の許可を受けた後に建築物設計書等の内容に変更が生じる場合には、再申請を行う必要があります。その場合は、取消願を1部提出し、

同日に再申請を行ってください。

※法第76条第3項に基づき、申請内容のとおりに行為を行う必要があることから、変更が生じる場合は再度申請を行っていただき、施行者の意見を再確認する必要があります。

■提出書類

取 消 願	取消願（第9号様式）
-------	------------

※再申請については、上記「1. 許可申請書の提出書類について」を参照。

3. 建築行為等完了届の提出書類について

法第76条第1項の許可を受けた行為等を完了した者は、当該行為等を完了した日の翌日から起算して14日以内に完了届を1部提出してください。

■提出書類

完 了 届	建築行為等完了届（第10号様式）
-------	------------------

※施工前後が確認できる写真を添付してください。

4. 許可申請書等の提出先

伊勢原市 都市部 市街地整備課（市役所2階 12番カウンター）

（住所：神奈川県伊勢原市田中348番地 〒259-1188
連絡先：TEL（0463）94-4764（直通）
FAX（0463）95-7614）

【東部第二土地区画整理事業・伊勢原大山インター土地区画整理事業に関すること】

伊勢原市 都市部 新産業拠点整備課（市役所2階 11番カウンター）

（住所：神奈川県伊勢原市田中348番地 〒259-1188
連絡先：TEL（0463）94-4769（直通）
FAX（0463）95-7614）

記入例 ①

第1号様式(第2条関係)

正

土地区画整理事業施行地区内建築行為等許可申請書

※正本(1部)には『正』、副本(2部)には『副』と表示してください。

年 月 日

伊勢原市長 殿

申請者 住所
氏名
電話
代理人 住所
氏名
電話

土地区画整合法第76条第1項の規定により、次のとおり許可を受けたいので、関係図書を添えて申請します。

建築行為等の場所	(建築行為等の底地地番)伊勢原市〇〇 〇〇番、〇〇番の各一部 (仮換地番号) 〇〇街区 〇〇画地
建築行為等の行われる土地区画整理事業の名称及び工区	〇〇区画整理事業
敷地の地目	畑
敷地の権利の種類	所有権
敷地について所有権以外の権利で登記のないものを有し又は有することとなった者の申告の有無(法第85条)	無
建築行為等の内容	専用住宅の新築
建築行為等(工事)の期間	〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇年〇〇月〇〇日まで
他の法令による許認可等の有無	建築確認申請、地区計画区域内行為届出 伊勢原市地域まちづくり推進条例、景観条例の届出等

(注) 建築行為等の内容欄には、当該申請行為等の種類、目的、概要等を具体的に記入すること。

- 注意：**
- ・提出部数は3部です(正本1部、副本2部)。
 - ・施行者自らが行うものを除き、すべての建築行為等に本許可申請の手続が必要です。
 - ・許可申請が必要な期間は、土地区画整理事業の公告があった日の翌日から換地処分公告の日までです。

コメントの追加 [1]: 土地の所有者以外の申請は、土地使用承諾書等の使用権限が確認できる書類を添付してください。

コメントの追加 [2]: 業者に許可申請を委託している場合は、会社名及び担当者名(代理人)を記載してください。
※委任状(任意様式)を提出書類に添付。(申請者の押印が必要ですが、正本以外は写し可。)

コメントの追加 [3]: 重ね図(公図に仮換地・保留地を重ねた図面)を参考に、土地の地番を全て記載してください。

コメントの追加 [4]: 仮換地証明書等の街区・画地番号を記載してください。

コメントの追加 [5]: 仮換地証明書等に記載されている地目を記載して下さい。また、保留地の場合は、宅地と記載してください。

コメントの追加 [6]: 申請者が有する権利(土地の所有権、借地権等)を記載してください。

コメントの追加 [7]: 土地の所有権以外の借地権、地上権、永小作権、地役権、賃借権、使用収益権、質権、抵当権等で登記のないものについて、施行者に対する申告の有無を記載してください。

コメントの追加 [8]: 主たる建築行為等の内容を簡潔に記載してください。
例) 共同住宅の新築、工作物の新設、土地の形質の変更

コメントの追加 [9]: 申請地に該当する他法令の内容を記載してください。

記入例 ②

第2号様式(第2条関係)

(表)

土地の形質の変更設計書			
建築行為等を行う土地の現況	<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;"> 現況傾斜 有 東側隣地 +0.66m 西側隣地 +0.60~-0.65m 南側道路 -0.15~-0.45m 北側隣地 +0.57m </div>	面積	20.53平方メートル
施工の方法及び目的	①既存法面を埋め戻し、宅地を有効利用する。 ②駐車スペースを確保するため、切り土を行う。		
跡地の処理方法	①L型擁壁による土留めを新設する。 ②駐車スペースの床面は、コンクリート舗装仕上げとする。 (切り土：15.32㎡、盛り土：5.21㎡、合計：20.53㎡)		
その他必要な事項	無		
(注) 建築行為等を行う土地の現況欄には、現況傾斜の有無、周辺の地盤との関係、高低その他について記載すること。			

コメントの追加 [1]: 建築行為等を行う土地の高さを基準とし、隣接地等との高低差を表示してください。
 ※高低差が一定でない場合は、最高値と最低値を記載。

コメントの追加 [2]: 土地の形質の変更を行う合計面積を記載してください。

コメントの追加 [3]: 土地の形質の変更を行う面積も記載してください。
 ※面積根拠については、設計図(平面図・断面図)等で示してください。

(裏)

図面等の種類		明示すべき事項
ア	付近見取図	方位、道路及び目標となる地物を表示した図面
イ	公図の重ね図	縮尺500分の1以上で現在の公図に仮換地図を重ねたもの
ウ	設計図	縮尺1,000分の1以上のもので当該行為の施行後における公共公益施設、宅地等の位置及び形状を当該行為により新設し、又は変更される部分と既設のもので変更されない部分とに区別したもの(平面図・断面図)
エ	その他市長が必要と認める図書	

コメントの追加 [4]: 施行者から入手してください。

・申請地を赤色で囲ってください。

・申請地と重複する従前地番を明示してください。

例) 申請地と重複する従前地及び地番を緑色で囲む。

コメントの追加 [5]: 左記の明示すべき事項が「建築物設計書」に添付する「配置図」に記載してあれば、「配置図」で兼ねることができる。

※切り土、盛り土部分の箇所は、別々の着色等を行ってください。

記入例 ③

第3号様式(第2条関係)

(表)

建築物設計書				
敷地	現況の概要	現況傾斜 有 東側隣地 +0.66m 西側隣地 +0.60~-0.65m 北側隣地 +0.57m	敷地の面積	180.05 平方メートル
	道路との関係(高低差)	南側道路 -0.15~-0.45メートル	土地の形質の変更の有無	☑ 別に設計書(第2号様式)を添付すること。 無
申請建築	用途	専用住宅	構造	木造2階建
	工事種別	新築、増築、改築、移築、その他()		
建築物	建築面積	68.05 平方メートル	延べ面積	126.25 平方メートル
	既存建築物の種類及び積面	無		
工事請負者の住所及び氏名		神奈川県伊勢原市〇〇番地 (株)〇〇住宅 代表取締役 〇〇〇〇 電話〇〇-〇〇〇〇(担当: 〇〇)		
その他必要な事項		無		
(注) 1 増築の場合には、建築面積及び延べ面積欄に増築に係る面積についてもカッコ書きすること。 2 現況の概要には、現況傾斜の有無、周辺の地盤との関係、高低その他について記載すること。				

コメントの追加 [2]: 仮換地証明書や保留地証明書等の面積を記載してください。なお、有効数値については、各証明書等のとおりです。

コメントの追加 [1]: 建築する土地の高さを基準とし、隣接地との高低差を表示してください。
※高低差が一定でない場合は、最高値と最低値を記載。

コメントの追加 [3]: 建築する土地の高さを基準とし、道路との高低差を表示してください。
※高低差が一定でない場合は、最高値と最低値を記載。

コメントの追加 [4]: 建築確認申請における建築物用途の区分を参考に記載してください。

コメントの追加 [5]: 主要構造及び階数を記載してください。

(裏)

図面等の種類		明示すべき事項
ア	付近見取図	方位、道路及び目標となる地物を表示した図面
イ	公図の重ね図	縮尺500分の1以上で現在の公図に仮換地図を重ねたもの
ウ	配置図	縮尺500分の1以上のもので方位、敷地の境界線、敷地内における建築物の位置、申請に係る建築物と他の建築物との別、擁壁、井戸及びし尿浄化槽の位置並びに敷地の接する道路の位置及び幅員
エ	各階平面図	縮尺200分の1以上のもので方位、間取、各室の用途
オ	二面以上の断面図	縮尺200分の1以上のもので床の高さ、各階の天井の高さ、軒及びひさしの出並びに軒の高さ及び建築物の高さ
カ	その他市長が必要と認める図書	

コメントの追加 [6]: 施行者から入手してください。

・申請地を赤色で囲んでください。

・申請地と重複する従前地番を明示してください。

例) 申請地と重複する従前地及び地番を緑色で囲む。

コメントの追加 [7]: この行為に関係する法令等を確認し、配置計画を行ってください。

例) 地区計画、まちづくり協定など

②建築物の位置は、道路及び隣地 境界線までの有効距離 (外壁等からの距離) を全方向で記載。

③壁面位置の制限がある場合には、制限位置を破線で図示。

※規定の縮尺でA3用紙に収まらない場合は、担当者との相談により、詳細がわかる範囲で縮尺を変更することが可能です。

コメントの追加 [8]:

※規定の縮尺でA3用紙に収まらない場合は、担当者との相談により、詳細がわかる範囲で縮尺を変更することが可能です。

コメントの追加 [9]:

樋先までの寸法も記載してください。なお、次の内容が記載されていれば、「立面図」でも可。

・軒及びひさしの出並びに軒の高さ及び建築物の高さ

・樋先までの寸法

※規定の縮尺でA3用紙に収まらない場合は、担当者との相談により、詳細がわかる範囲で縮尺を変更することが可能です。

記入例 ④

第4号様式(第2条関係)

(表)

工作物 設置設計書 物件 (建築物を除く。)			
敷地	現況の概要	現況傾斜 有 東側隣地 +0.66m 西側隣地 +0.60~-0.65m 北側隣地 +0.57m	敷地の面積
	道路との関係(高低差)	南側道路 0.15~-0.45メートル	敷地の面積
申請 工作物・ 物件	種類及び用途	①土留め擁壁 ②CB1段積みによる土留め+メッシュフェンス設置	
	構造の概要	①RC擁壁(H=1200、H=1500) ②CB1段積み(H=200)+メッシュフェンス(H=800)=合計高さH=1000	
	工事の種別	新設	
その他必要な事項	無		
(注) 現況の概要には、現況傾斜の有無、周辺の地盤との関係、高低その他の事項について記載すること。			

コメントの追加 [2]: 仮換地証明書や保留地証明書等の面積を記載してください。なお、有効数値については、各証明書等のとおりです。

コメントの追加 [1]: 建築する土地の高さを基準とし、隣接地との高低差を表示してください。
※高低差が一定でない場合は、最高値と最低値を記載。

コメントの追加 [3]: 建築する土地の高さを基準とし、道路との高低差を表示してください。
※高低差が一定でない場合は、最高値と最低値を記載。

コメントの追加 [4]: 申請対象となる工作物・物件は、一般的な工作物・物件です。
※建築基準法の定義にある工作物ではありません。

コメントの追加 [5]: 構造、高さ等を記載してください。

コメントの追加 [6]: 新設、増設、改設、移設、その他()等を記載してください。

(裏)

図面等の種類		明示すべき事項
ア	付近見取図	方位、道路及び目標となる地物を表示した図面
イ	公図の重ね図	縮尺500分の1以上で現在の公図に仮換地図を重ねたもの
ウ	配置図	縮尺500分の1以上のもので方位、敷地の境界線、工作物の設置位置、工作物と他の建築物等との位置関係並びに敷地に接する道路の位置及び幅員
エ	平面図 立面図 構造図 断面図	縮尺200分の1以上のもので主要部分の材料の種別、仕上げ方法等
オ	その他市長が必要と認める図書	

コメントの追加 [7]: 施行者から入手してください。

・申請地を赤色で囲んでください。

・申請地と重複する従前地番を明示してください。

例) 申請地と重複する従前地及び地番を緑色で囲む。

コメントの追加 [8]: 左記の明示すべき事項が「建築物設計書」に添付する「配置図」に記載してあれば、「配置図」で兼ねることができる。

コメントの追加 [9]: 基礎構造が申請地側内に収まる事が確認できる図面を添付してください。

記入例 ⑤

第5号様式(第2条関係)

(表)

物件たい積設計書				
敷地	現況の概要	現況傾斜 有 東側隣地 +0.66m 西側隣地 +0.60~-0.65m 北側隣地 +0.57m	敷地の面積	180.05 平方メートル
	道路との関係 (高低差)	南側道路 -0.15~-0.45メートル	土地の形質の変更の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 別に設計書(第2号様式)を添付すること。 無
たい積物件	たい積物件名	建設発生土		
	たい積及び運搬方法	10m(L) × 5m(W) × 1m(H) ※上部はブルーシートで養生 ダンプトラック(10t)にて運搬		
	たい積量	44m ³		
跡地の処理方法		宅地として現況復旧		
その他必要な事項		無		
(注) 現況の概要には、現況傾斜の有無、周辺の地盤との関係、高低その他について記載すること。				

コメントの追加 [2]: 仮換地証明書や保留地証明書等の面積を記載してください。なお、有効数値については、各証明書等のとおりです。

コメントの追加 [1]: 建築する土地の高さを基準とし、隣接地との高低差を表示してください。
 ※高低差が一定でない場合は、最高値と最低値を記載。

コメントの追加 [3]: 建築する土地の高さを基準とし、道路との高低差を表示してください。
 ※高低差が一定でない場合は、最高値と最低値を記載。

(裏)

図面等の種類		明示すべき事項
ア	付近見取図	方位、道路及び目標となる地物を表示した図面
イ	公図の重ね図	縮尺500分の1以上で現在の公図に仮換地図を重ねたもの
ウ	配置図	縮尺500分の1以上のもので方位、敷地の境界線、工作物の設置位置、工作物他の建築物等との位置関係並びに敷地に接する道路の位置及び幅員
エ	平面図 立面図 構造図 断面図	縮尺200分の1以上のもので主要部分の材料の種別、仕上げ方法等
オ	その他市長が必要と認める図書	

コメントの追加 [4]: 施行者から入手してください。

・申請地を赤色で囲んでください。

・申請地と重複する従前地番を明示してください。

例) 申請地と重複する従前地及び地番を緑色で囲む。

コメントの追加 [5]: 物件たい積する箇所を示すと共に、隣接地からの距離を全方向で記載してください。